

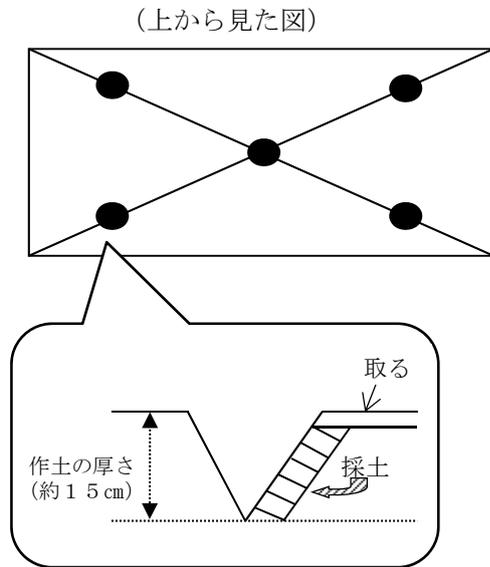
# 土壌の採取・調整

## 1. 土の採取

(1) 採取する時期  
原則として収穫後～施肥前に採取します。

### (2) 採取する箇所

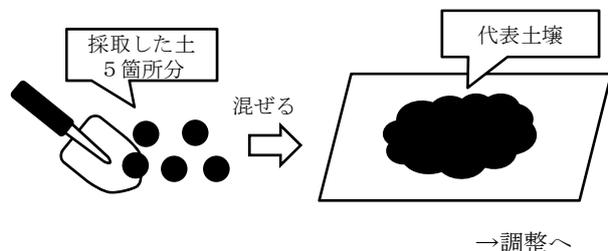
#### ①水田土壌・畑土壌（施設を含む）



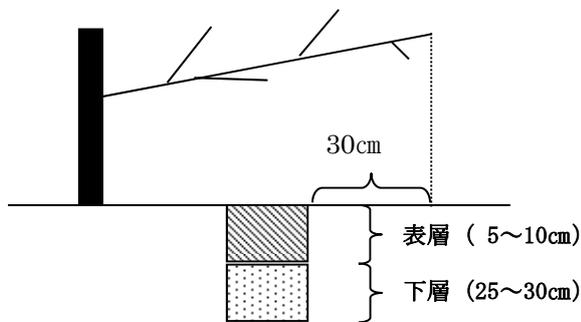
左図のように対角線上の5箇所の地点を選び、そこから土壌を採取します。

表面の土（1～2cm）は取り除きます。  
V字形の穴を掘り、穴の斜面に沿って一定の厚さを掘り取ります。

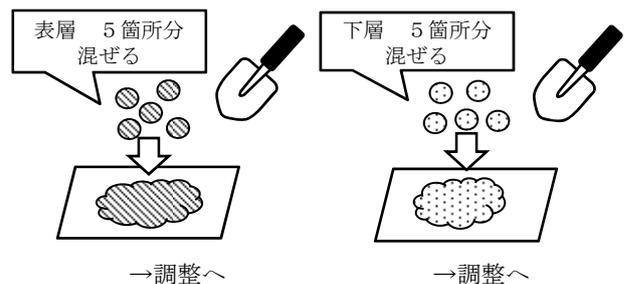
採取した土壌を混ぜたものを代表土壌とし調整します。



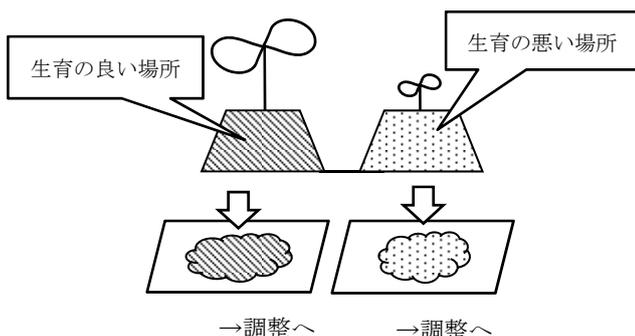
#### ②果樹園



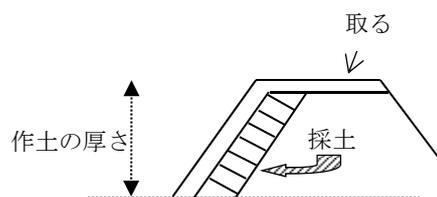
代表的な樹5本を選びます。  
枝の先端から30cm内側の土を採取します。  
(或いは株元から2m外側の土)。  
表層・下層それぞれを別にして両方採取します。



#### ③生育に差のある場所 (畝のある場合)



生育に差の認められる不良株、良好株の株元で根域圏、或いは下図のように土壌を採取します。



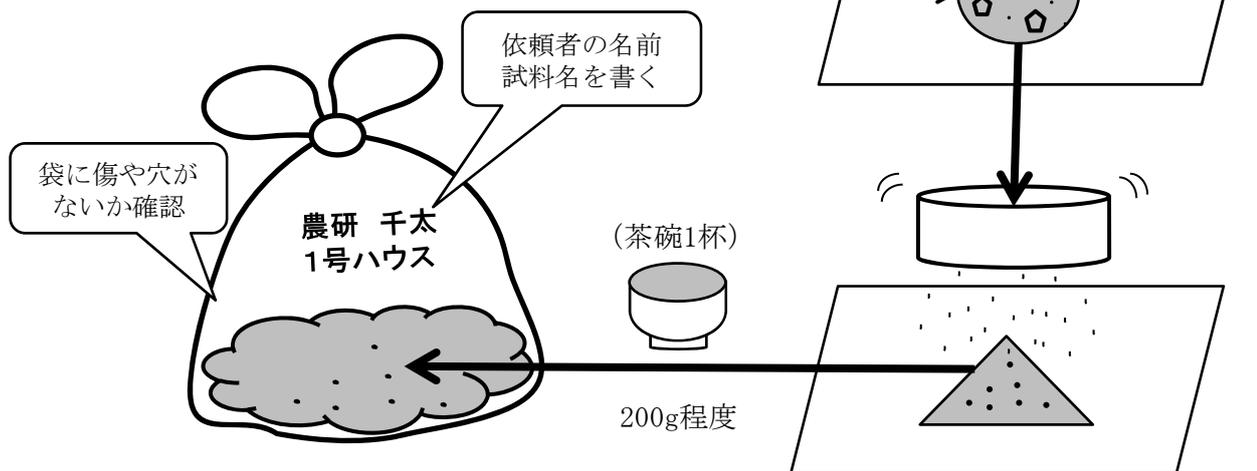
## 2. 採取した土の調整

(1) 採取した土壌を混ぜてより細かくほぐし、新聞紙などの上に広げます。大きな残渣や石などは取り除きます。

(2) 陰干しでよく乾燥させます。  
(新聞紙等にもせても湿気がつかない程度まで)

(3) 風乾土の一部(500~600g程度)を木づち等で粉碎し、2mm目のふるい(なければザル等で代用可)にかけます。

(4) ふるいにかけた土壌200g(ごはん茶碗一杯)程度を袋に入れてください。袋には名前を記入してください。試料が複数ある場合は、**試料名か番号**を記入してください。土壌がこぼれないよう、袋に傷や穴がないか確認してください。



### ！ 土壌の持込み前に確認！

チェック✓

- 土はしっかり乾いている
- 残渣や肥料の粒、大きな土の塊が入っていない
- 持ち込む土の量は200g(ごはん茶碗一杯)程度
- 土を入れた袋に名前と試料名(番号)が書いてある

円滑で正確な分析のため、調整作業にご協力をお願いします。